



愛亀グループ  
社内報

亀の子団  
ニュース

立冬 第55号  
令和2年11月発行

各社・各部署は掲載事項がありましたら、  
管理本部までお送り下さい。  
TEL089-921-3030  
FAX089-913-7432  
k.hayase@ikee.jp (担当 早瀬)



令和2年度 山陰自動車道  
松江高速道路事務所管内  
舗装補修工事

本工事は山陰自動車道 松江玉造IC  
出雲IC間(区間延長約34km)・松江自動  
車道三万屋木次IC～穴道JCT間(区  
間延長約11km)・安来道路 米子西IC～東  
出雲IC間(区間延長約20km)の中で土工  
部約4万5千m、橋梁部約5,000mの舗  
装補修工事を行っております。(工期 令和  
2年6月11日～令和4年1月31日、600  
日間)

山陰自動車道は中国地方東西軸の高規  
格幹線道路であり、おおむね日本海沿い  
を通り、国道9号と並行して、山陰地  
方の各都市(鳥取市、倉吉市、米子市、安来  
市、松江市、出雲市、大田市、江津市、浜田  
市、益田市、萩市、長門市、下関市など)を結  
ぶ路線であります。また施工区間はほぼ  
暫定2車線での供用となっている為、工事  
時は交互通行規制(ほぼ夜間)にて施工を  
しなくてはなりません。その中で、繁忙期  
で2班約30名、愛亀エンジニアスタッフ5  
名にて多事多端にて日々奔走しております。  
山陰自動車道は、初受注と言ったこと  
もあり、地理に乏しく、難儀しております。  
現状として、9月末～10月末(22日間)に

かけて、夜間通行止による集中工事の真  
最中でありませぬ。また工事が始まったば  
かりですが、ほぼ夜間工事ということもあ  
り、体調管理に気を付けて、無事故無災害  
で工事完了できるように職員全員で努力し  
て頑張りたいと思います。

〈道路事業部/竹田直一朗〉



身体に気をつけて  
くださいカメ〜



E-BIKEを活用した  
自転車推進モデル事業所  
社員向けセミナー

愛媛県より「E-BIKEを活用した  
自転車推進モデル事業所」に剪定された  
ことを受け、社員向けのセミナーを10月  
26日(月)に行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、  
3密を避ける移動手段として、また運  
動不足解消への取り組みなどを社内外に  
発信して、愛媛県の推  
奨する自転車新文化  
の普及に尽力してい  
きたいです。

〈管理本部/早瀬啓貴〉



〔参加者の感想〕

道路事業部/香西政宏



西山社長の自  
転車愛の話しか  
ら始まり、愛媛  
県の職員の方々  
より愛媛県がす  
める自転車新文化推進の取組みにつ  
いての講話をいただき愛媛県のサイクリ  
ングに対する心意気と情熱を感じました。  
その後、伊予警察署様からのご講話では  
シミュレーションを交えた自転車運転の  
乗り方やマナーについて再認識できる機  
会を得ることができました。

E-BIKEとは、スポーツ型の電動ア  
シスト付自転車です。見た目もカッコ良  
く、試乗してみると少しの力で結構進んで  
これは凄く楽だと感じました。これだつた  
ら少々家が遠くても通勤できるのではな  
いかなと思います。みなさん健康の為に  
E-BIKEを活用した自転車通勤をして  
みてはいかがでしょうか。



愛媛中予砕石(株)の  
会社ロゴ完成

6月に愛媛砕石(株)と中予砕石(株)が合併  
し、ようやく愛媛中予砕石(株)としての新  
しいロゴが完成しました。

ロゴの原案は社内公募により、社員約  
70名から40個ものアイデアをいただ  
き、投票・意見交換を行って2名のアイ  
ディアを組み合わせる事となりました。  
原石山の横断面をイメージし、横断面  
には「E h i m e C h u y o  
S a i s e k i」の略称「ECS」が入っ  
ています。また、横断面より採掘するイ  
メージで、ロゴ左側には  
砕石が入っています。色  
はグリーンを基調とした  
素晴らしい出来上がり  
になりました。今後、名刺・  
封筒・ホームページなど、  
順次変更していきたいと  
考えています。

〈愛媛中予砕石/忍那心〉

愛媛中予砕石(株)

▲新しいロゴ



▲新しい作業着

〈木村 Q3〉 特技はありますか？  
〈ユウキ A〉 牛丼の早食いです！普通はおい  
しく、味わって食べる！物だと思えますが、私  
はすき屋のキング  
牛丼(メニュー表には  
載っていない裏メ  
ニュー)が大好きです。  
完食までの最速タイ  
ムは5分55秒です。  
来月は愛亀技術試験室  
の大西達也さんへバト  
ンを引き継ぎます。



〈木村 Q1〉 加賀  
工業に入ってから今  
シーズンのプ  
レーの感想は？  
〈ユウキ A〉 入社  
5ヶ月になりました  
が、断熱の仕  
事、会社の雰囲気  
会社のみんなとの関係だいが慣れてきま  
した。最近ではハッカラー(番線)を結束する道  
具の使い方も慣れてきました。



愛亀Grp  
リレーコラム

〈宮崎優紀 一問一答〉  
期待の大型新人(身長179cm)宮崎優紀  
君には大谷翔平(野球選手)が子供達に受け  
た質問を仕事に置き換えて宮崎君に答えて  
もらいました。

**K** 加賀工業  
愛媛ものづくり企業  
「スコ技」テータベース  
ガイドブックへ掲載

加賀工業が、愛媛ものづくり企業「スコ技」テータベースガイドブック2020-2021に掲載されました。手に取る機会がありましたら、ぜひご覧ください。



カガサーモジャケットが紹介されています

**Grp**  
女性限定  
サイクリングイベント

10月10日(土)しまなみエリアで開催された愛媛県自転車新文化推進協会会員向けガールズサイクリングに参加しました。

初めて乗る「E-BIKE」は坂道スイスイ！長距離も楽ちん!! 漕ぎはじめと坂を登る時の軽さに驚きます。

今後、体験した魅力を発信していきます。  
(管理本部/筒井杏子)



**Grp**  
愛媛県主催の  
サイクリングイベント

10月25日(日)愛媛県主催のサイクリングイベントがあり、愛亀からは、西山諒君。ひるりからは私が参加しました。

当日は愛媛県庁サイクリングチームや商工会議所の方々など多くのサポートボランティアにかけつけて頂き、秋晴れの「しまなみ海道」をとても気持ちよく走ることができました。



27日の愛媛新聞朝刊には、自分の写真と諒君のコメントが載っててびっくりしました。  
(ひるり/藤井大輔)

中村知事と走りました▶



西山諒君のコメント

**愛亀**  
夜間工事  
周南高速防府西IC

10月5日から14日までの計8日間、IC閉鎖による夜間集中工事に携わらせていただきました。内容は切削オーバーレイで、私は主に温度管理や写真の撮影に関わる準備を行いました。

現場は日々スムーズに進行していましたが、そこには現場に携わる方々の努力があつてこそだと思えます。特に今回は技術者の方の現場での立ち居振る舞いや段取りの良さに驚き、感銘を受けました。



本工事はまだまだ続き、大変だと思えます。無事故・無災害で工事完了できるよう心から祈り申し上げます。  
(道路管路営業部/柴翔平)

**愛亀**  
NONちゃん倶楽部  
徳島ボランティア

徳島県にて10月6日の徳島県道路交通法改正により愛媛・高知に次ぐ四国3県目となるタンDEM自転車道の公道走行解禁に合わせ、徳島県運転免許センターにて開催された視覚障がい者向けのタンDEM



自転車乗車イベントへ参加しました。かねてよりご協力させて頂いているNPO法人「タンDEM自転車NONちゃん倶楽部」の方々主催のもと、タンDEM自転車後部に視覚障がい者の方々を乗せ、免許センター内を爽快に走ることが出来ました。タンDEMが初めての方や目が見えていた頃に乗っていた方々など様々でしたが、走行中にはまた自転車に乗れて楽しいと嬉しい言葉を頂けました。翌日は全身筋肉痛でした。  
(道路管路営業部/西山諒)

**びるり**  
住まいの町医者  
設計相談会

11月14日、びるりが加盟している「イノスの家」の一環として、設計相談会を開催しました。多くの方にご来場いただき、充実した一日となりました。



今後毎月、同様のイベントを開催する予定です。「イノスの家」加盟店としての取り組みを知っていただく機会にもなりますので、是非お気軽にお越しください。  
(ひるり/信藤七海)



8月30日に日本を出たコンテナが10月8日無事IBCに到着いたしました。松山港出航時は台風10号と遭遇し、シアヌークビル入港後は通関に手間取り、プノンペンではカンボジア人スタッフのみでの荷卸し作業など、ドキドキしっぱなしでしたが、なんとか無事完了いたしました。スタビライザーをはじめ、合計7台の大型機械を駆使し、カンボジアの道路改良に尽力いたします！  
(海外事業室/山田美和)



愛亀の重機たち、カンボジアでもたくさん活躍するカメ!

次回より俳句バトル開幕!!

次回発行号より、皆様の俳句を募集します。優秀作品は掲載して紹介させていただきます。特選(1位)の方には俳句グッズを贈呈いたします。

お題 新年の抱負orお正月

ご応募は 管理本部/宮本まで!  
r.miyamoto@ikee.jp  
(締切:令和2年12月25日)

一句一遊  
母呼べども呼べども  
蒼き初時雨  
奈月

先日、友人の母の葬儀に参列した。彼は、優しい男で親孝行を地で行くような男だった。私も、何度かお会いして気持ちのいい方だと思ったものだ。言葉にならない悲しみをこらえている彼、かける言葉はなかった。私が母を失ったらどうなってしまうのだろうか。ふと、恐ろしさに身もすくむような思いを抱いた。きつと、彼のように表面的には繕うのかもれない。しかし、どこから母を捜してしまうのではないだろうか。ましてや、死に目に会えなかつたりすれば.....。そのために帰郷した。それだけでも甲斐があつたと思いたい。その日がいづ来るのか分からないからこそ。感謝と恩返しを日々、喧嘩しながらも大切に慈しもうと思う。(管理本部/安部拓朗)